

# かけはしコラム

家庭と地域との心の架け橋を目指し、

R6.1月号

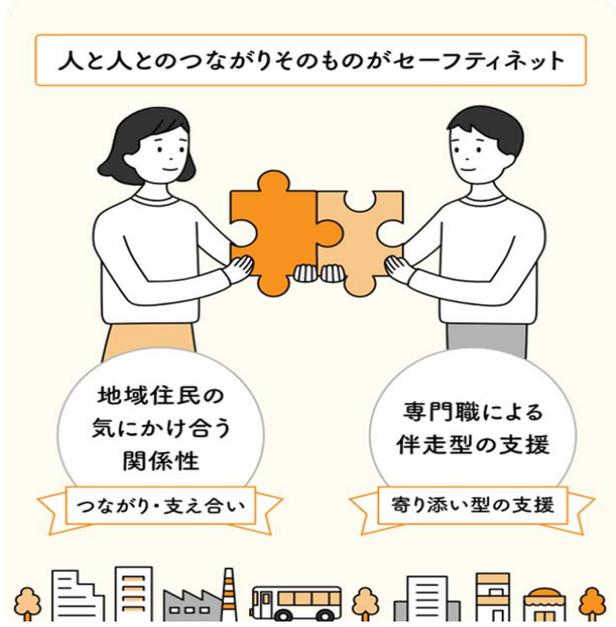
子どもとの関わり方の一助となれる言葉を発信していきます

## 二つの心～利己と利他～お互い様の優しさを

あたら ねん みな いちねん  
新しい2024年、皆さまどんな一年にされたいでしょうか…。

もくひょう ねが ごと む ひび はじ  
目標や願い事に向かって、日々が始まっています。

これから社会は、予測不能で変化が激しいです。そして、その時代を切り拓く力も必要



です。“地域共生社会の実現”という言葉をよく耳にされるとおもいます。縦・横・斜めの連携で複合化する多問題を地域総がかりで、支え合うことがこれからの社会に必要とされています。

人の心には、自分だけよければ良いという自分中心の心（利己）と他の人を助けてあげたいという親切な心（利他）の二つがあるそうです。良い循環が巡る時は、後者のネットワークが機能するときではないかと日ごろ感じます。

引用：厚生労働省地域共生社会のポータルサイト

自尊心が高まってくると、他者へのまなざしも温かく、人を包摂するような関係もできます。そして、信頼関係の輪が広がり、困ったときは“お互い様”と相手の方も手を差し伸べてくれ、困りごとも長引かないようです。

核家族化がどんどん進み、地域のコミュニティも希薄になりつつある現代ですが、つながりの貧困にならない様に、顔が見え、声が聴こえる心の架け橋を大切にしたいですね。“利他”のお互い様の心で、温かくつながり合える共生社会の実現。まずは、ご自身を大切に…。ひとり一人が大切にされ、誰一人ひとりぼっちにならない豊かなつながりを…。困難を抱える子どもたちが、包摂される社会の実現を願います。